

- 学校が抱える課題が複雑化・困難化する中、**教員の長時間労働の実態**が明らかに。
- これからの時代を支える創造力をはぐくむ教育へ転換し、複雑化・困難化した課題に対応できる「**次世代の学校**」を実現するため、**教員が誇りや情熱をもって使命と職責を遂行できる環境**へ。
- 教員の長時間労働の状況を改善し、教員が子供と向き合う時間を確保**するための改善方策を提案。

### 1. 教員の担うべき業務に専念できる環境を確保する

- ・学校や教員の業務の見直しを推進し、教員が担うべき業務に専念できる環境整備を推進
- ・業務改善と学校指導体制の整備を、両輪として一体的に推進

#### 学校指導体制の整備

教育課題に対応した教職員定数  
S C、S S Wの配置拡充  
マネジメントを担う事務職員等  
の定数改善

両輪として  
一体的に推進

#### 業務改善

#### 重点課題

- ◆**教員の行う業務の明確化**
  - ・事務職員の職務内容の見直し
  - ・業務アシスタント（仮称）の検討
  - ・民間ノウハウの活用の促進
- ◆**給食費等徴収管理業務からの解放**
- ◆**統合型校務支援システムの整備**

※次世代の学校指導体制 T F に  
沿って着実に推進

### 2. 部活動の負担を大胆に軽減する

生徒の多様な体験の充実、健全な成長の促進の観点からも、**部活動の適正化が必要**

休養日の明確な設定等を通じた運営の適正化等を促進

- ◆**毎年度の調査\*を**活用し、各中学校の**休養日の設定状況を把握し改善を徹底**
- ◆**総合的な実態調査、スポーツ医科学等の観点からの練習時間や休養日等の調査研究**
- ◆**運動部活動に関する総合的なガイドラインの策定**
- ◆**中体連等の大会規定の見直し**
- ◆**部活動指導員（仮称）の制度化・配置促進等**

\*全国体力・運動能力、運動習慣等調査

### 3. 長時間労働という働き方を改善する

業務改善を断行するためには、**働き方そのものの価値観の転換**が必要

国、教育委員会、学校の**パッケージの取組（明確な目標設定と、適切なフォローアップ・支援）**により、実効性を確保

長時間労働という働き方を見直し、心身ともに健康を維持できる職場づくり

- ◆**勤務時間管理の適正化**（G P 発信、長時間労働是正のための周知・啓発キャンペーンの実施）
- ◆**教員の意識改革**（独）教員研修センターの管理職等研修の見直し）
- ◆メンタルヘルス対策の推進



明確な目標の設定・周知、学校サポート、フォローアップを行い、学校組織全体としての業務改善の P D C A サイクルの確立を促進

### 4. 国・教育委員会の支援体制を強化する

- ◆**省内に「学校環境改善対策室」（仮称）を設置、業務改善アドバイザーを配置し自治体等に派遣**